

北条砂丘地区



お台場公園

大栄道の駅

コンナン道路

北条砂丘土地改良区

コンピューター室

送水管

加圧機場

スプリンクラー

揚水機場

頭首工

日本海

国道9号線

国道313号線

砂丘

天神川

由良川

水田

茶白山

ほうじょうさきゅうちく

北条砂丘土地改良事業のあらまし

北条砂丘は、一級河川、天神川の河口に発達した県下で第2番目の大砂丘で、東は湯梨浜町橋津から西は北栄町大谷までの東西・約十数km、南北・約1.5kmに広がる1,100haの広大な砂丘です。

北条砂丘では昭和27年に天神川に堰を築き、川の水を強力なポンプで汲み上げ、北栄町由良までの約660haの砂丘地に水を撒くという日本で初めての畑地かんがい土地改良事業が国の理解のもとに始められました。東西10kmにわたる砂丘畑の地下に大小のパイプを網目のように埋め、スプリンクラーで雨が降るように水を撒く設備です。長い年月と幾多の問題を話し合いで乗り越え、区画を基盤の目のように整形した道路、排水路なども合わせて行うほ場整備、さらに自動的に水を撒く設備を整備して全天候型の理想的な砂丘地農業に到達しています。

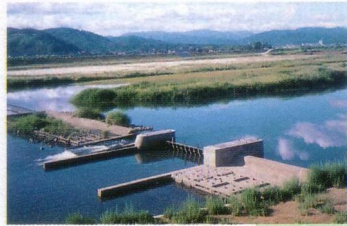
事業名	施行年度	事業費
県営畑地かんがい事業	昭和27年度～昭和40年度	5.5億円
県営ほ場整備事業	昭和42年度～昭和57年度	22.8億円
県営かんがい排水事業	昭和55年度～平成3年度	22.6億円
県営畑地帯総合整備事業	平成12年度～平成19年度予定	54.1億円



かん水センター



集中監視操作を行う「かん水センター」



形式 コンクリート固定堰
堤高 1.0m
堤長 143m
取水量 0.895m³/s



揚水量 0.895m³/s
全揚程 22.3m
ポンプ 横軸両吸込渦巻
口径 450mm
台数 2台

頭首工



送水管 (φ800mm)

揚水機場



支線水路
加圧ポンプ場
(4ヶ所)

加圧機場



「嫁ゴロシ」と呼ばれた当時のかん水作業



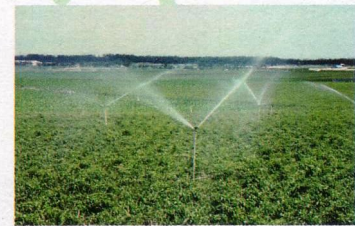
電磁弁

60aごとに設置



ほ場整備

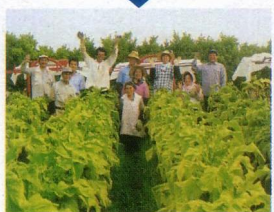
起伏修正された砂丘畑



かんがい整備

スプリンクラーによる自動散水

現在は…



葉たばこ



ぶどう



ながいも



らっきょう



共同給水栓／消火栓

管理主体



ほうじょう さきゅう と ち かいりょう く
北条砂丘土地改良区

事業主体

とっとり けんちゅう ぶ そうごう じむしょ のうりんきょく
鳥取県中部総合事務所農林局